



バンコク便り



1. はじめに

華人が多く住むタイでは、1月22日の旧正月（春節）に合わせ、各地で祝賀イベントが行われました。旅行検索サイトでは中国からの旅行先トップがタイとなったことや、プーケットには3年ぶりに中国からの団体旅行客が到着するなどのニュースが報じられ、観光往来が着実に増えてきていることが感じられます。また日本政府観光局（JNTO）とタイ国政府観光庁（TAT）では相互往来の発展、地方誘客促進・強化といった課題に連携して取り組むための趣意書を締結するなど、一層の交流拡大に向けた取り組みが進められています。

2. 現地ビジネス情報（タイにおける介護・福祉産業について Vol. 1）

タイは、高齢化問題に直面しており、介護ニーズは年々高まっています。現在、介護が必要な高齢者（60歳以上）は約150万人と推定されており、2030年までに、その数はその倍になると予測されています。タイでは、高齢者介護は家族が行うという考え方（仏教的思想）が残っており、政府もまた、高齢者支援は第一義的には家族とコミュニティ（地域の方々）が担い、政府の介護サービスは補完的な位置づけとして提供するとの方針を示しています。一方、家族の負担は増加しており、バンコクなど都市部においては、コミュニティベースでの支援も困難になってきているのが現状です。

タイで提供されるボランティアサービスは、右記表の通り「保険ボランティア」、「高齢者在宅ケアボランティア」、「社会開発・人間の安全保障ボランティア」の3つがあります。

ボランティア種類	対象者	費用
保険ボランティア	全年齢	無償 (少額の活動費)
高齢者在宅ボランティア	60歳以上の高齢者	無償 (各自治体により少額手当てあり)
社会開発・人間の安全保障ボランティア	介護が必要な高齢者	有償

上記サービス以外にも、民間事業者による介護施設やデイサービスが提供されています。全国に約700カ所ある介護施設は、低所得者層も利用でき、費用は介護施設で5,000THB～30,000THB（約2万円～約12万円）、デイサービスは700THB～1,200THB（約2,800円～約4,800円）程度となっています。またバンコクやリゾート地には富裕層や外国人向け大型リゾート介護施設が存在するほか、大規模な私立病院は施設内に介護施設を併設し、病院との提携を図る取り組みも行っています。

民間サービスは増加しているものの、低所得者層は経済的な理由から、政府の介護サービスに依存しているケースが多く、今後、政府のサービスを拡大させる必要があります。このようにタイは、介護に関し多くの課題を抱えていますが、介護用品分野など、日系企業が参入できる市場もあり、注目が高まっています。



高価格帯(上)と低価格帯(下)の介護施設

3. 現地トピックス（タイ人インフルエンサーが来県！）

2/2～2/5 にかけて、山形県タイ友好協会（事務局：荘内銀行）では、バンコク及び東京からタイ人インフルエンサー2名を招聘し、タイで知られていない県内の魅力的なスポットや食などを体験するタイに向けた情報発信事業を行いました。各所訪問の様子は、早速、お二人のSNSで投稿され、多くのタイ人から好反応を得るなど、山形の観光PR・認知度向上に結びついています。山形県タイ友好協会では、今後もこうした情報発信事業に取り組んでいきたいと考えておりますので、ぜひ皆様のお勧めのスポットなどをご紹介くださいませ。

またインフルエンサーの来県初日である2/2には、インフルエンサーのお二人と山形県ASEAN現地コーディネーター（タイからWEB出演）を講師に、インバウンドセミナーを開催し、山形県の魅力とその発信、これからの観光プロモーションについてご講演頂きました。



観光PRの様子



インバウンドセミナーの様子